

(表面)

ひたちなか市教育委員会

奨学生願書										
ふりがな	たろう			※ <input checked="" type="radio"/> 男 ・ 女			奨学資金の貸与希望期間			
氏名	ひたちなか 太郎			平成〇〇年〇〇月〇〇日生 (満〇〇歳)			令和3年 4月から	令和7年 3月まで		
進学希望校 又は在学学校	高等専門学校 専修学校 〇〇大学			課程	学部	科	第 学年			
所在地	東京都千代田区〇〇〇〇									
希望する奨学資金	※ <input checked="" type="radio"/> 奨学金 ・ 入学準備金			入学準備金の申請額			円			
本人	住所 ひたちなか市〇〇〇〇			電話番号 〇〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇			奨学金に〇を付けてください。			
家族住所	ひたちなか市〇〇〇〇			電話番号 〇〇〇〇			家計支持者の続柄の前に〇を付けてください。			
家族の状況	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	年収 (税込)	父又は母死亡のときはその年月日			
	父	ひたちなか 一郎	46	会社員	〇〇(株)	4,800,000	( 歳)			
	母	ひたちなか 花子	45	パート	〇〇製作所	1,023,000	就学者の 在学学校名	学年	通学方法	現在までの 市奨学資金 貸与の有無
	本人	ひたちなか 太郎	18	高校生			〇〇高校	3年※	自宅・自宅外	※ 有・無
	×姉	ひたちなか 勝子	20	大学生			〇〇大学	2	自宅・自宅外	有・無
	妹	ひたちなか 湊子	16	高校生			〇〇高校	1	自宅・自宅外	有・無
	祖父	ひたちなか 次郎	78	無職		2,400,000			自宅・自宅外	有・無
	合計 ( 5人)							年金「恩給・老齢年金等」 の収入金額を記入して ください。		
×申請番号	本市前奨学生	家族の状況は、申請時点の状況を記入してください。				借用証書提出年×	×決定番号			
						月	第 号			
		学校				年 月				
		年 月まで								

(裏面)

家族経済状況及び奨学資金貸与希望理由	姉は東京都にある大学に進学し、自宅外通学をしており、妹は私立高校看護科1年に在学中です。また、祖父は腎臓が悪く入退院を繰り返しているため、今後、病状が悪化すれば、腎臓透析が必要になるといわれているため、母親は、現在の週3.5日の就労を短縮する必要が出てくるのが予想されます。	
	現在でも、学費・生活費・医療費の出費が大きい状況ですが、私が私立大学に進学することを希望しているため、両親の経済的負担を少なくしたいと思い応募しました。	
	奨学金希望者本人が家庭事情や経済的な状況について、詳細に記入してください。	
本人の履歴	〇〇年 3月ひたちなか市立〇〇中学校卒業	年 月
	〇〇年 3月県立〇〇高校卒業見込み	年 月
	年 月	年 月
以上のとおり記載に相違ありません。 奨学生として採用の上、奨学資金の貸与をお願いします。 なお、採用の上は、ひたちなか市奨学資金貸与条例の規定に従い、奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学資金の返還その他の義務についても、両名連帯の責任を負うことを誓約します。 令和〇年 〇月 〇日 本人 氏名 <b>ひたちなか 太郎</b> ※本人が自署しない場合は、記名押印してください。 連帯保証人 住所 <b>ひたちなか市〇〇〇〇</b> 氏名 <b>ひたちなか 一郎</b> ※本人が自署しない場合は、記名押印してください。 続柄 本人の ( <b>父</b> ) 〇〇年 〇月 〇〇日生 ひたちなか市教育委員会 殿		

(記載上の注意)

- ※印の箇所は、該当するものを○で囲み、×印の箇所は記入しないこと。
- 家族の状況のうち、続柄の前に、家計支持者には○印を、別居者には×印を付けること。
- 家族経済状況及び奨学資金貸与希望理由は、具体的かつ詳細に記入すること。
- 本人の履歴は、休学、転学、退学、身分の異動等も理由を付して記入すること。
- 連帯保証人は、父母又はこれに代わる者(本人が未成年者であるときは、その法定代理人)で、市内に住所を有し、将来奨学資金返還の責任を負いうる者であること。  
なお、出願の際は連帯保証人1人でよいが、奨学生として採用されたときは、更に別の保証人1人を要するので、あらかじめ考慮しておくこと。
- 所定欄に記入のないものは、判定材料を欠くものとして不採用とすることがある。